

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（第1部・第2部特別課程第49期）

神奈川県秦野市 総務部財産管理課 笹森 千咲

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1 はじめに

令和7年8月29日から9月26日までの約1か月間、自治大学校での研修に参加する機会をいただきました。全国の自治体職員と共に学び、語り合い、成長を実感した日々でした。

入寮時は夏の暑さの中、半袖で汗をぬぐっていましたが、退寮時には秋の気配が漂い、長袖を羽織るようになっていました。季節の移ろいととともに、自分自身の変化と成長を感じられた1か月でした。

研修前は期待と同時に不安もありました。特に私は中学1年生と小学5年生の2人の子どもを持つ親として、1か月間家族と離れて暮らすことに葛藤がありました。しかし、職場や家族の温かい支えにより、安心して研修に臨むことができ、子どもたちもこの期間に自立心を育んでくれました。この経験は、私だけでなく家族にとっても大切な時間となりました。

これから研修に参加される方へ伝えたいのは、「不安があっても、必ず得るものがある」ということです。勇気を持って一步を踏み出せば、自分の可能性を広げる貴重な時間が待っています。

2 研修に臨むまでの準備と期待

自治大学校での研修に臨む前、e-ラーニングによる法制学習に取り組みました。地方自治法や地方公務員法など、普段触れることの少ない分野を学ぶのに苦戦しながらも、「もっと知りたい」「業務に活かしたい」という前向きな気持ちが芽生えました。

入寮前は、全国から参加する自治体職員

の方々の中で、自分がついていけるのか不安を感じていました。しかし、実際に研修を終えてみると、得られた経験はすべてプラスに働き、学びも出会いも、今後の人生を形づくる大きな力になっていくと感じています。

3 研修を支えてくれた人々への感謝

まず、講義や演習を通じて私たちの学びを導いてくださった講師陣に、心から感謝申し上げます。常に学びを深められる環境を整えてくださり、知的好奇心を刺激される毎日でした。

また、教務部の皆さまには、日々の運営や生活面でのサポートをしていただき、安心して研修に集中することができました。

そして、温かく研修に送り出してくださった職場の皆さま、日々の生活を支えてくれた家族に、心から感謝しています。この支えがあったからこそ、充実した学びの時間を過ごすことができました。

4 講義・演習を通じた学び

自治大学校の研修は、講義と演習の二本柱で構成されています。講義では、各分野の第一線でご活躍されている講師陣から、最新の知見や地方自治の本質を学びました。普段の業務では触れられない考え方や視点に出会い、自分の視野を広げる貴重な機会となりました。

演習には3つの形式があり、異なる学びがありました。

まず、テキスト型事例演習では、事例を整理し、班で討議することで、課題の捉え方や整理の仕方を学びました。続くディベート型演習では、賛否に分かれて議論することで、論理的に考え、相手に伝える力の大切さを体感しました。さらに、特定政策課題レポ

ート演習では、複数のテーマから選択し、所属自治体に即した政策提案としてまとめる演習で、日頃の気づきが政策の提案につながることを実感しました。

本研修では、地方公務員として今後求められる力について大きな方向性（問題発見・解決能力、政策立案能力、プレゼンテーション能力、自治体経営やDXに関する知識など）が示されています。これらは研修を進める上で大きな指標となり、講義や演習を通じて、その一つ一つがなぜ重要なのかを理解することができました。

もちろん、この1か月でこれらの力を身につけられたとはまだ言えませんが、自分に足りない部分や、今後伸ばしていくべき方向性を明確に認識できたことは大きな収穫です。特に、全国の仲間と協働しながら課題に向き合う中で、理論だけでは得られない実践的な気づきが多くありました。今後は、この経験を日々の業務の中で少しずつ活かし、企画立案や政策提案などにつなげていきたいと考えています。

5 全国の仲間との出会いと学びへの期待感

この研修で最も心に残っているのは、全国から集まった78人の女性職員との出会いです。

班活動では、異なる地域・職種・経験を持つ仲間と議論を重ねる中で、新たな視点や発想に触れることができました。寮生活では、同じフロアの18人と日々の生活を共にし、談話室での語らいを通じて自然と絆が深まりました。

また研修外では、鎌倉を散策したり、某テーマパークに出かけたりと、研修の枠を超えて交流を深める機会にも恵まれました。こうした時間を共にしたことで、お互いの人柄をより深く知ることができ、仲間との絆はより深いものになりました。

この年齢になって、これほど密度の濃い人間関係を築ける機会はそう多くありません。今後もこのつながりを大切にし、互いに

刺激し合いながら成長していきたいと思います。



鎌倉で過ごした、忘れられない1日

6 これからに向けて —学びを止めず、つながりを力に—

自治大学校での1か月間は、まさに「人とのつながりが支えた時間」でした。学びや悩みを共有し、励まし合った仲間の存在が、充実した研修生活を可能にしました。

この研修で得たこと、学びの姿勢、そして仲間とのつながりは、市役所での仕事に還元できる大きな力です。今後は、市民サービスの向上や地域課題への具体的な政策提案などに活かし、学びを止めず、経験を日々の業務に反映していきたいと思います。

これから研修に臨む方へお伝えしたいのは、不安があっても、その一步が必ず自分の力になるということです。

自治大学校の支えのもとで得られる経験は、必ず自分の成長につながります。この経験は、市役所人生の最高の贈り物であり、この経験を胸に、これからも前を向いて歩んでいきます。



談話室にて、フロアのみinnで笑顔の一枚